

研究タイトル:

授業における言語活動・タスクに関する研究



氏名:	遠藤 香菜子 / ENDO Kanako	E-mail:	k-endo@yonago-k.ac.jp
職名:	准教授	学位:	修士(学術)
所属学会・協会:	全国高等専門学校英語教育学会, 全国英語教育学会		
キーワード:	英語教育学, 言語活動, タスク, リテリング, 音読, ICT, e-learning		
技術相談 提供可能技術:	・外部英語検定試験の対策(TOEIC, 実用英語技能検定試験等) ・英語スピーチ指導		

研究内容: 英語授業における言語活動・タスクに関する研究

現在、私は授業における言語活動・タスクに関する研究を行っています。現行の学習指導要領では、技能統合型の言語活動(「聞いたことについて書く」「読んだことについて話す」等)を英語授業内で行うことが明記されており、そのような活動の1つであるリテリング(再話)について研究しています。リテリングとは、英文を聞いたり読んだりした後に、キーワードや絵をヒントにして、英文を再構築して自らの言葉で話す活動です。英語教科書の本文を活用して、実際に授業で活動に取り組んだ学生の発話に与える影響について研究しています。

また最近では、タスクに関する研究を中心に進めていて、教科書内のスピーキング活動を分析対象として、タスク性を分析し、タスク性を高めた活動を実際に授業で実践しています。

担当科目	英語総合 I, 英語総合演習
過去の実績	ジュニアドクター育成塾「英語でプレゼンテーションする方法を学ぼう」講師(2023～現在)
近年の業績 (研究・教育論文、特許含む)	・英語授業におけるタスク性を高めた言語活動の実践—高校英語教科書内の言語活動のタスク性分析とその応用— (2025) ・Examining the Usage of E-learning in TOEIC English Classes: A Report Aimed at Optimizing and Individualizing Learning (2025) ・論理・表現 I・II の教科書に掲載されているスピーキング活動のタスク性分析(2025) ・Practice Report on Continuous Assignments Using Reading Progress on Microsoft Teams (2024) ・学生の習熟度に応じたりテリング活動の効果の検証 —発音・内容・言い換え・発話語数に着目して— Verification of the Effect of Retelling Activities According to the Proficiency Level of Students: Focusing on Pronunciation, Contents, Paraphrasing and the Number of Words (2024) ・Microsoft Teams の Reading Progress を活用した音読課題の試み Introducing an Assignment Using Reading Progress on Microsoft Teams (2023) ・米子高専の英語授業におけるリテリング活動の実践—教科書本文を活用して— A Practice of Retelling Activities in English Classes at Yonago Kosen:Through Using Passages in the Textbook (2022)